

富士河口湖町立 教育センターだより

No.15

令和元年11月11日

文責 渡辺 富美夫



充実した富士山学習の実践 !!

各校で、富士山学習に取り組んでいます。その中で「ほりぬきがひらいた未来」の学習は4年生で行っています。この学習は富士山科学研究所との連携で行われ、1時間目の「富士山の形と成り立ち」で、どこから見ても同じように見える富士山は、場所によって見える姿が違うということや、その姿の違いは成り立ちが関係していることを学びます。2時間目には、河口湖新倉掘抜の資料から、わかったことや疑問を出し合い、学習課題「河口湖新倉掘抜はなぜ作られたのだろう」に迫るため、富士山の周りの地理的条件を学びます。この授業で、河口湖新倉掘抜が作られた理由には富士山が大きく関わっていることに子どもたちは気づきます。

3～5時間目には実際に見学です。右の資料のような流れで見学していきます。見学の大切なポイントは「願い」です。どんな願いがあり「河口湖新倉掘抜」が掘られたのか、また、それ以外のトンネルもどのような願い（理由）で作られたのか、そして、願い実現のためにどのような努力や苦勞があったのか、その願いは実現したのかなど見学しながら考えていきます。さらに、うそぶき山にはトンネルは何本あるか考えていきます。主なトンネルは6本あります。そのどれもが人々の生活をよりよくしようとして作られたものであることに、「願い」をキーワードにして気づくように学習が進みます。



資料

見学行程

- 1 記念碑「新倉掘抜記念碑（富士吉田市）」船津浜駐車場
- 2 河口湖新倉掘抜史跡館
掘抜の説明、工事の様子がわかるものの説明、掘抜内部の見学
- 3 県庁隧道取水口
- 4 東電放水路取水口
- 5 河口湖新倉掘抜出口
- 6 東電放水路出口
- 7 新倉河口湖トンネル

河口湖新倉掘抜とは…「日本一長い手掘りトンネル」で長さは、およそ3.8 km。河口湖の水害と新倉の水不足解消のため、3回にわたる工事を行う。1期工事（約340年程前、工期11年、通水せず）、2期工事（約180年程前、工期6年、通水、約1年使用24000㎡の水田）、3期工事（約160年程前、工期3年、通水、約50年ほど使用11万㎡の水田）。約170年間（工事期間約20年）延べ10万人の人手を要した。現在は、河口湖入り口側から50mほどが見学できる。

子ども生活・意識アンケートより

睡眠時間

今回のアンケートにおいて、睡眠時間について考えてみたいと思います。「子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切」とのことから「早寝早起き朝ごはん」運動が13年前に提唱され、家庭や学校等で取組がなされ、改善が見られています。しかし、現代の子どもたちは、両親の生活スタイルや習い事などで幼い頃からタイトなスケジュールが組まれた生活を送りがちのため、睡眠時間は少ない状況です。（理想の睡眠時間は、小学生で9～12時間、中学生で8～10時間と言われています）。特に問題として挙げられている1つは、低年齢の就寝時刻で夜10時以降に寝る子どもは、3歳児で1980年は約20%だったのが、2010年には約50%まで増加しています。これは、両親の就寝時刻が遅いことに関係しているようです。また、小学校高学年から中学生や高校生において、12時以降の就寝が増えていることです。ゲームやスマホ等の動画視聴が理由の1つにあり、そのため、ホルモンバランスが崩れたり、昼夜が逆転して学校に行けなくなるということも起きているようです。各家庭や学校において、今一度、睡眠時間について考えてみてはいかがでしょうか。

早寝早起き 朝ごはん